１．化学品及び会社情報

化学品の名称	：バスターマイルド™
ＳＤＳ整理番号	：BM-JP-010
供給者の会社名称	：旭化成ケミカルズ株式会社
住所	：〒101-8101 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ﾋﾞﾙﾃﾞｨﾝｸﾞ
担当部門	：アサクリン事業グループ
電話番号	：03-3296-3274
ＦＡＸ番号	：03-3296-3458
緊急連絡先	：アサクリン技術グループ（TEL 044-271-2503）
推奨用途及び使用上の制限	：成形機金型用洗浄剤

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	：引火性液体	区分２
	自然発火性液体	区分外
	自己発熱性物質および混合物	分類できない
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	：急性毒性（経口）	区分５
	：急性毒性（経皮）	区分５
	：急性毒性（吸入：蒸気）	区分外
	：急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	区分外
	：皮膚腐食性及び刺激性	区分２
	：眼に対する重篤な損傷及び刺激性	区分２Ａ
	：呼吸器感作性又は皮膚感作性	区分１（皮膚）
	：生殖細胞変異原性	区分１Ｂ
	：発がん性	区分外
	：生殖毒性	区分１Ａ
	：特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分３（気道刺激性、麻酔性）
	：特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分１（肝臓）、区分２（神経）
	：吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	：水生（短期間）水生有害性	区分１
	：長時間水生有害性	区分１

＊上記で記載がない危険有害性は、分類対象外である。

ＧＨＳラベル要素

絵表示又はシンボル ：

注意喚起語 ：危険

危険有害性情報 ：引火性の高い液体及び蒸気
飲み込むと有害のおそれ
皮膚に接触すると有害のおそれ
皮膚刺激
強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
遺伝性疾患のおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ

眠気およびめまいのおそれ
長期又は反復暴露による肝臓の障害
長期又は反復暴露による神経の障害のおそれ
水生生物に対し極めて毒性が強い
長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き【予防策】

・容器を密閉しておくこと。
・熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。―禁煙
・保護手袋及び保護眼鏡/保護面を着用すること。
・静電気放電に対する予防処置を講ずること。
・使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。必要に応じて個人用保護具を使用すること。
・妊娠中/授乳期中は接触を避けること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。
・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。粉塵/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
・（必要なとき以外は、）環境への放出を避けること。
・対応策については「4.応急措置」保管については「7.取扱い及び保管上の注意」廃棄については「13.廃棄場の注意」を参照のこと。

３．組成及び成分情報

化学製品・混合物の区別：混合物

化学名	濃度範囲	化学式	官報公示整理番号（化審法・安衛法）	ＣＡＳ Ｎｏ.
エチルアルコール	65～70wt％	C_2H_5OH	2-202	64-17-5
リモネン	35～30wt％	$C_{10}H_{16}$	3-2245	5989-27-5

４．応急措置

吸入した場合　：新鮮な空気のある場所に移し,呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　：多量の水と石鹸で洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ再使用する場合には洗濯すること。皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診断／手当を受けること。

目に入った場合　：直ちに清浄な水で数分間以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は医師の診断/手当を受けること。
取り扱った後、手を洗うこと。

飲み込んだ場合　：気分が悪い場合は、医師に連絡すること。

暴露又は暴露の懸念の場合：医師の診断/手当を受けること。吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

応急措置をする者の保護：換気を良くし、保護具を着用する。

５．火災時の措置

消火剤　：粉末消火薬剤、耐アルコール性泡消火薬剤、二酸化炭素、砂
使ってはいけない消火剤　：棒状注水
火災時の特有の危険有害性：二酸化炭素、一酸化炭素を含むガスを発生する恐れがある。
特有の消火方法　：消火作業は、可能な限り風上から行う。
消火を行う者の保護　：消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。必ず保護具を客用する。
環境に対する注意事項：流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材：少量の場合は、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
大量の場合は、火花を発生しない安全なシャベルを用いて土砂、土のう等で流出を防止した上で、空容器などに回収する。風下で作業をしない。
二次災害の防止策　：付近の着火源となるものを速やかに除くとともに、消火剤を準備する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策　：(1)使用温度：常温～150℃。
(2)取扱いは、換気のよい場所で行う。
(3)火気厳禁
(4)静電気に対する予防策を講じること。
安全取扱い注意事項：容器を転倒、落下、衝撃を加え、又は乱暴な取扱いをしてはならない。
接触回避　：特になし
衛生対策　：指定された場所以外では、飲食、喫煙を行ってはならない。
保管
安全な保管条件　：(1) 涼しい所/換気の良い場所で保管すること。
(2) 熱源、着火源が無い場所に保管する。
(3) 直射日光が当たる場所を避けて保管する。
(4) 高温多湿な場所を避けて保管する。
(5) 施錠して保管すること。
安全な包装材料　：専用の詰め替え容器を使用すること。

８．ばく露防止及び保護措置

管理濃度　：設定されていない。
許容濃度　：日本産業衛生学会（2009 年版）：設定されていない。

	エチルアルコール	リモネン
ＡＣＧＩＨ（ＴＬＶ　2010 年版）　：ＳＴＥＬ	1000ppm	設定されていない
ＯＳＨＡ（ＰＥＬｓ　2010 年版）　：ＴＷＡ	1000ppm	設定されていない

設備対策　：必要に応じて局所排気設備、全体換気装置を設置する。
保護具
呼吸器の保護具　：必要に応じて有機ガス用マスクを着用する。
手の保護具　：保護手袋を装着する。

目の保護具　　：サイドシール付きの樹脂製保護眼鏡、樹脂製ゴーグルを装着する。
皮膚及び身体の保護具：通常の作業服で良いが、長袖の作業着を着用する。
必要に応じて合成樹脂又はゴム製の前掛け、腕カバーを着用する。
静電気防止靴を使用する。

９．物理的及び化学的性質

外観
物理的状態　　：液体
色　　：無色透明ないしは微黄色
臭い　　：特有の芳香
ｐＨ　　：中性
沸点　　：共沸点なし（エチルアルコール）７８℃（リモネン）１７３～１７８℃
融点　　：データ無し。
引火点　　：（製品として）１３℃（密閉式）
発火点　　：（エチルアルコール）３６３℃（リモネン）２７０℃
蒸気圧　　：（エチルアルコール）５．８７８ｋＰａ　（２０℃）
（リモネン）１．５ｋＰａ　（５６℃）
比重　　：（製品として）０．８１８（２３℃）
溶解性（製品として）
水　　：不溶
その他溶媒　　：アルコール、エーテルに可溶

１０．安定性及び反応性

安定性　　：常温で安定。
危険有害反応可能性：硝酸、過塩素酸塩などの強酸化剤などと激しく反応する。
避けるべき条件　　：日光、熱、裸火、スパーク、静電気、その他着火源。
混触危険物質　　：硝酸、過塩素酸塩類などの強酸化剤。
危険有害な分解生成物：特になし。

１１．有害性情報

項目名	エチルアルコール	リモネン	組成物　　＊１
急性毒性（経口）	区分外 RatLD50：6200mg/kg	区分５ RatLD50：4400mg/kg	区分５（飲み込むと有害のおそれ）
急性毒性（経皮）	分類できない	区分５ ｳｻｷﾞ LD50:5000mg/kg	区分５（皮膚に接触すると有害のおそれ）
急性毒性（吸入：蒸気）	区分外 RatLC50:64.8mg/L /4h	区分外 RatLC50：91mg/L/4h	区分外
急性毒性(吸入:ミスト)	区分外 RatLC50：118mg/L/4h	分類できない	区分外
皮膚腐食性及び刺激性	区分外	区分２	区分２（皮膚刺激）
眼に対する重篤な損傷又は刺激性	区分２Ａ－２Ｂ	区分２Ｂ	区分２Ａ（強い眼刺激）
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない	区分１（皮膚）	区分１（アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ）
生殖細胞変異原性	区分１Ｂ	分類できない	区分１Ｂ（遺伝性疾患のおそれ）
発がん性	区分外	区分外	区分外
生殖毒性	区分１Ａ	分類できない	区分１Ａ（生殖能又は胎児への悪影響のおそれ）
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分３（気道刺激性、麻酔性）	分類できない	区分３（気道刺激性、麻酔性）（呼吸器への刺激のおそれ、眠気及びめまいのおそれ）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分１（肝臓） 区分２（神経）	分類できない	区分１（肝臓）、区分２（神経） （長期又は反復暴露による肝臓の障害、長期又は反復暴露による神経の障害のおそれ）
吸引性呼吸器有害性	分類できない	分類できない	分類できない

＊有害性情報データの出展　　エチルアルコール：NITE　GHS 分類結果データベース
リモネン　：ChemGold2

１２．環境影響情報

生態毒性　：データなし

項目名	エチルアルコール	リモネン	組成物
急性（短期間）水生有害性	区分外	区分１	区分１（水中生物に対し極めて毒性が強い）
長期間水生有害性	区分外	区分１	区分 １（長期的影響により水生生物に非常に強い毒性）

残留性・分解性　　：情報なし
生体蓄積性　　：情報なし
土壌中の移動性　　：情報なし
オゾン層への有害性：情報なし

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物：都道府県知事の許可を得た専門の廃棄業者に委託処理する。
汚染容器及び包装：関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

１４．輸送上の注意

国際規制
　国連番号　　：1993
　国連分類　　：クラス３
　海洋汚染物質　：
　MARPOL73/78 附属書Ⅱおよび IBC コードによりばら積み輸送
　IMDG（国際海上危険物規則）コード：(P3219) クラス３．２　等級Ⅱ
　IATA-DGR（国際航空運送協会危険物規則）：クラス３　等級Ⅱ
国内規則
　海上規制情報　：海洋汚染防止法、船舶安全法に従った容器、積載方法で輸送する。
　航空規則情報　：航空法に従った容器、積載方法で輸送する。
　陸上規則情報　：道路法、消防法に従った容器、積載方法で輸送する。
輸送の特定の安全対策及び条件　：荷崩れ防止を確実に行う。乱暴な取扱いを避ける。
緊急時応急措置指針番号　：１２８

１５．適用法令

(1)化学物質管理促進法（ＰＲＴＲ法）：該当しない
(2)労働安全衛生法　　：施行令別表第１危険物（引火性の物）
　　：施行令別表第９　名称等を通知すべき有害物（エタノール）
(3)消防法　　：危険物第４類第一石油類（指定数量 200L）
(4)船舶安全法　　：危規則告示別表第１　引火性液体
(5)航空法　　：告示別表第３　引火性液体
(6)港則法　　：施行規則台１２条危険物（引火性液体類）
(7)海洋汚染防止法　　：施行令別表第１有害液体物質

１６．その他情報

本安全データシート（ＳＤＳ）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、ＳＤＳ中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされた場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。

また、当社は、ＳＤＳ記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

(1) 当社基準により、医療機器・医療用途の中で、下記用途に用いられる製品の金型の洗浄への使用はお断りします。

＊ 人体中に埋め込まれて使用される用途（インプラント用途）

＊ ３０日以上連続して、人体（含む血液・体液等）に接触する用途

(2) 上記以外の医療機器・医療用途用の金型の洗浄、推奨用途以外の使用に関しては、当社アサクリン事業グループ（TEL 03-3296-3274）にご相談下さい。

記載内容に関する問い合わせ先

アサクリン技術グループ（TEL 044-271-2503, FAX 044-271-2333）

2013.8.20　JIS 改訂に合わせた全面見直し